


2018年3月期第2四半期
決算説明資料

2017年10月25日

 日立化成株式会社

項目	(億円)		
	16/上	17/上	前年 同期比
売上収益	2,572	3,199	124 %
営業利益	254 9.9%	197 6.2%	78 %
当期利益 (親会社株主に帰属)	168	168	100 %
営業利益からその他の 収益・費用を除いた金額	246 9.6%	290 9.1%	118 %

為替レート (1US\$)	平均	¥105.29	¥111.06
	期末	¥101.12	¥112.73

機能材料

1,494億円（前年同期比 113%）

◆ 電子材料

3次元構造のNAND型フラッシュメモリ向けを中心に、CMPスラリーが増加

◆ 無機材料

環境対応自動車向けに、リチウムイオン電池用カーボン負極材が増加

◆ 樹脂材料

スマートフォン向けに、ディスプレイ用回路接続フィルムが増加

◆ 配線板材料

スマートフォン向けを中心に、銅張積層板、感光性フィルムが増加

先端部品・システム 1,705億円 (前年同期比 137%)

◆ 自動車部品

今年度第2四半期にISOLITE GmbHを連結子会社化したことや、新製品の立ち上げ等により、樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品が増加

◆ 蓄電デバイス・システム

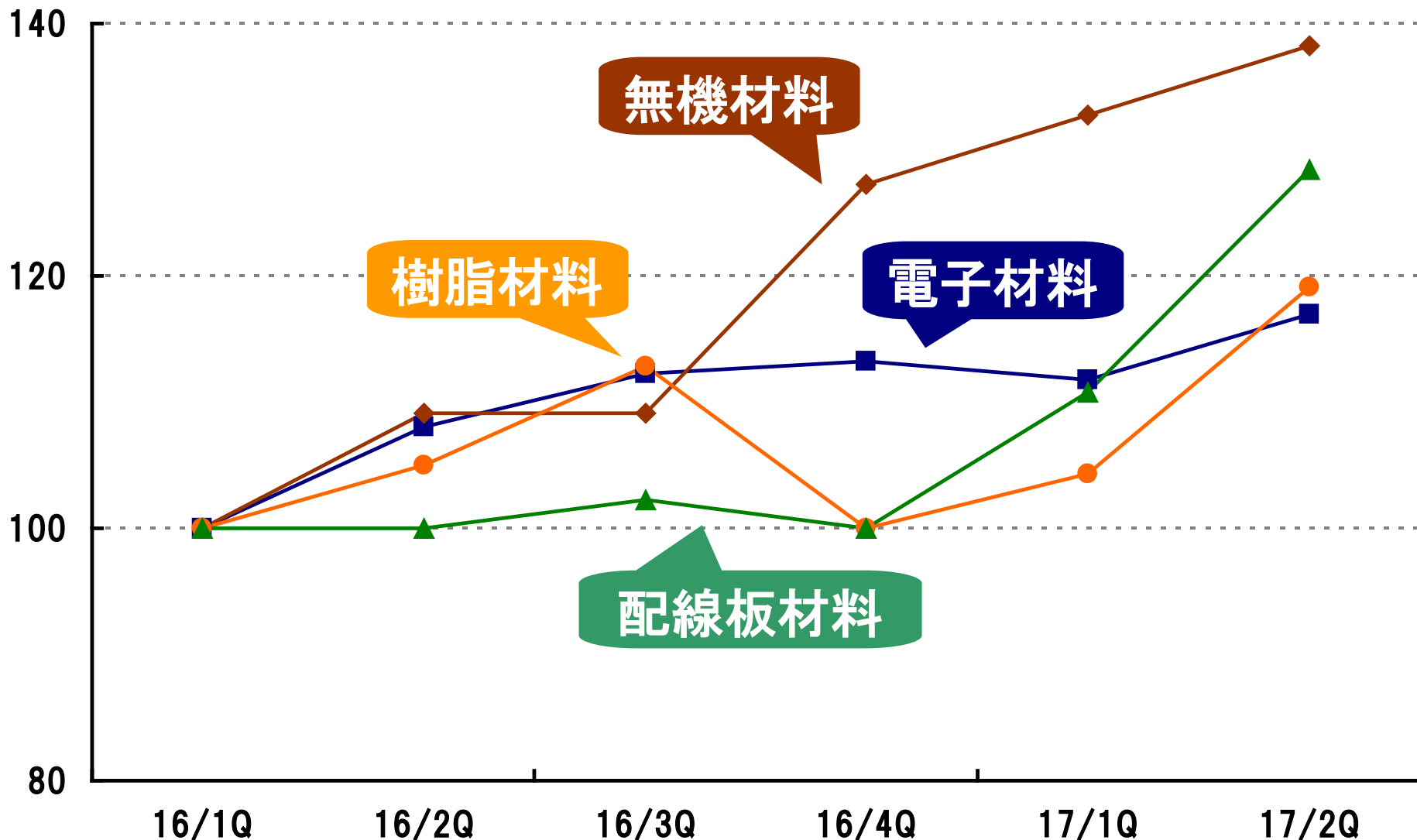
前年度第4四半期にFIAMM Energy Technology S.p.A.を、今年度第2四半期にThai Storage Battery Public Limitedを連結子会社化したこと等により、車両用電池と産業用電池が増加

◆ 電子部品

ICTインフラ向けに、配線板が増加

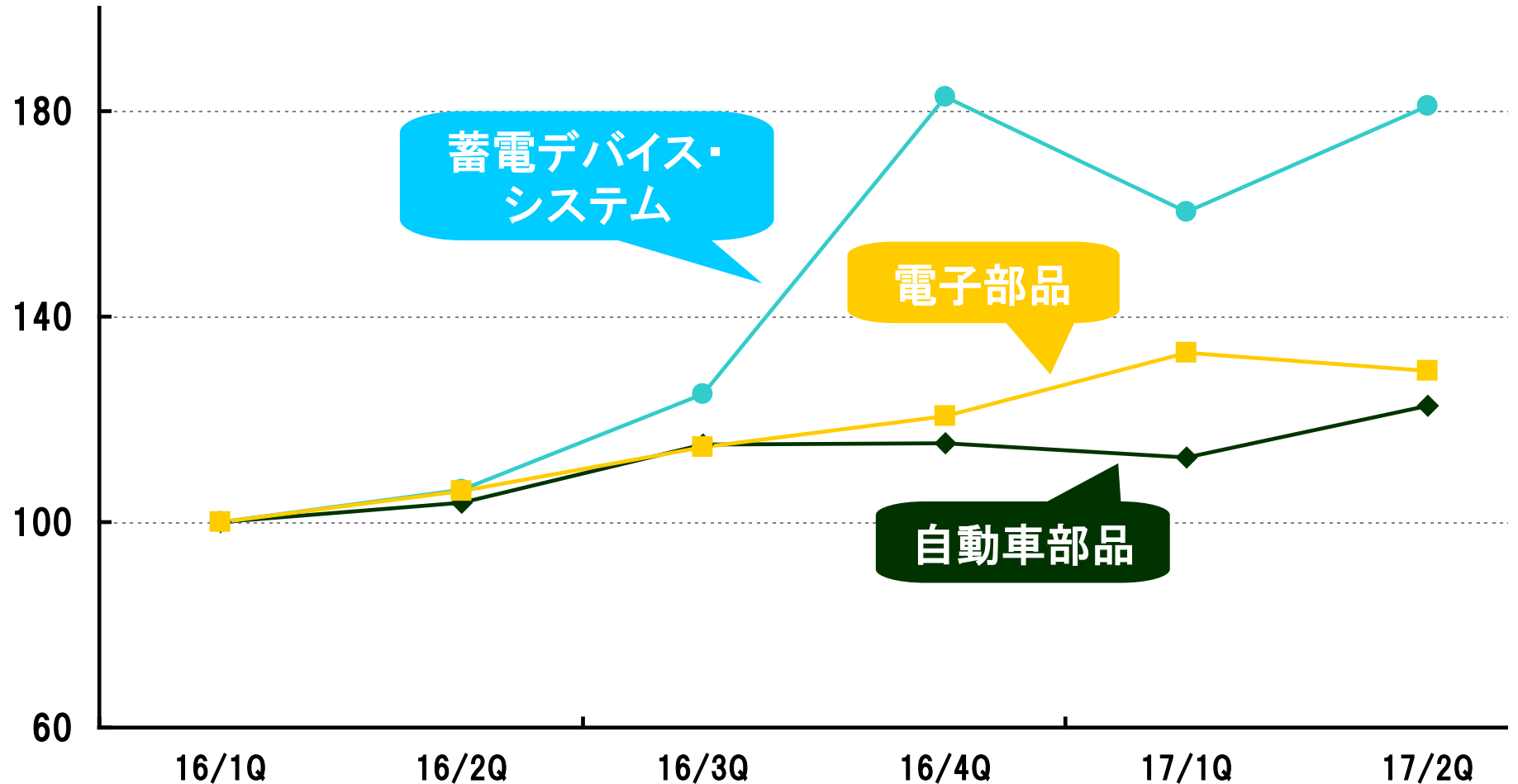
	売上収益	前年同期比
機能材料	1,494 億円	113 %
電子材料	485	110
封止材		109
ダイボンディング材料		90
CMPスラリー		134
無機材料	149	130
リチウムイオン電池用負極材		144
樹脂材料	315	109
ディスプレイ用回路接続フィルム		109
配線板材料	420	119
銅張積層板		121
感光性フィルム		118

対16/1Q指数

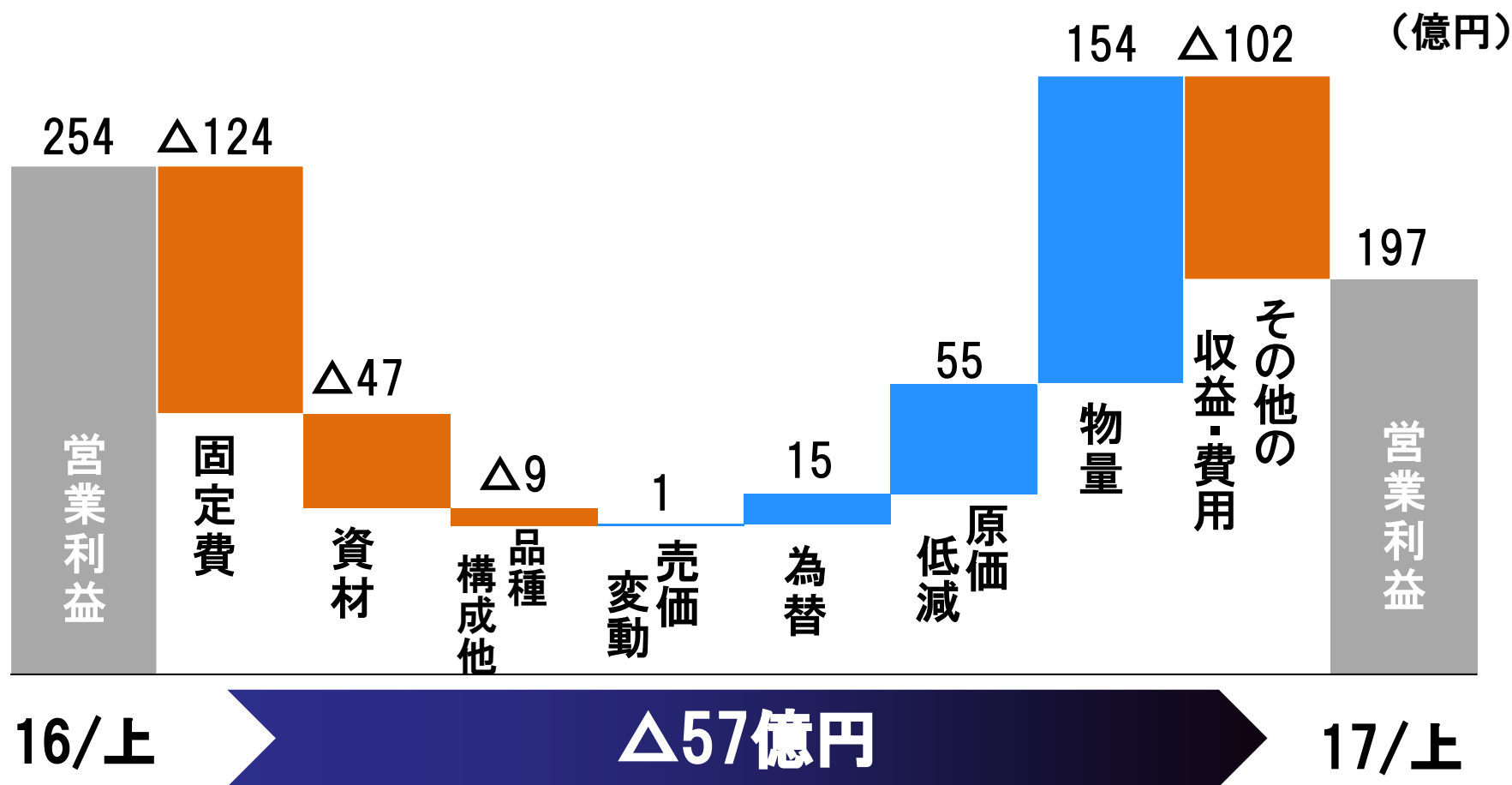


	売上収益	前年同期比
先端部品・システム	1,705 億円	137 %
自動車部品	673	115
樹脂成形品		118
摩擦材		124
粉末冶金製品		110
蓄電デバイス・システム	771	165
車両用電池		218
産業用電池		149
電子部品	216	128

対16/1Q指数



営業利益の偏差説明（1）



物量増や継続的な原価低減等の増益要因があったものの、コンデンサカルテルに関する係争中の案件について合理的な範囲で費用化したことにより、前年同期実績を下回りました

営業利益の偏差説明(2)

(億円)

セグメント	16/上	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種 構成他	その他の 収益・ 費用	17/上
機能材料	223	49	△18	9	△11	32	△20	△3	△15	246
先端部品 ・ システム	31	105	19	6	△36	23	△104	△6	△87 (注1)	△49
計	254	154	1	15	△47	55	△124	△9	△102	197

(注1)コンデンサカルテル費用含む

項目	(億円)		
	16年度末 (2017/3月末)	17/2Q末 (2017/9月末)	増減
総資産	6,005	6,660	655
負債	2,244	2,679	435
有利子負債	474	769	295
純資産	3,761	3,981	220
親会社株主持分	3,696	3,905	209
	61.6%	58.6%	

(億円)

項目	16/上	17/上	対前年 増減
営業活動による キャッシュフロー	264	136	△ 128
投資活動による キャッシュフロー	△ 136	△ 545	△ 409
財務活動による キャッシュフロー	△ 194	117	311
資金残高	1,063	803	△ 260

17年度業績見通し

(億円)

項目	16年度 実績	17年度見通し		前年度 比	5月 公表比
		5月公表	今回公表		
売上収益	5,541	6,100	6,700	121 %	110 %
営業利益	532 9.6%	580 9.5%	510 7.6%	96 %	88 %
当期利益 (親会社株主に帰属)	402	425	405	101 %	95 %
営業利益からその他の 収益・費用を除いた金額	540 9.8%	610 10.0%	620 9.3%	115 %	102 %

為替レート (1US\$)	平均	¥108.38	¥110.00	¥110.53
	期末	¥112.19	¥110.00	¥110.00

機能材料

3,000億円（前年度比 110%）

半導体関連等の堅調な需要を受け、下期も上期と同水準の売上が見込まれる

先端部品・システム

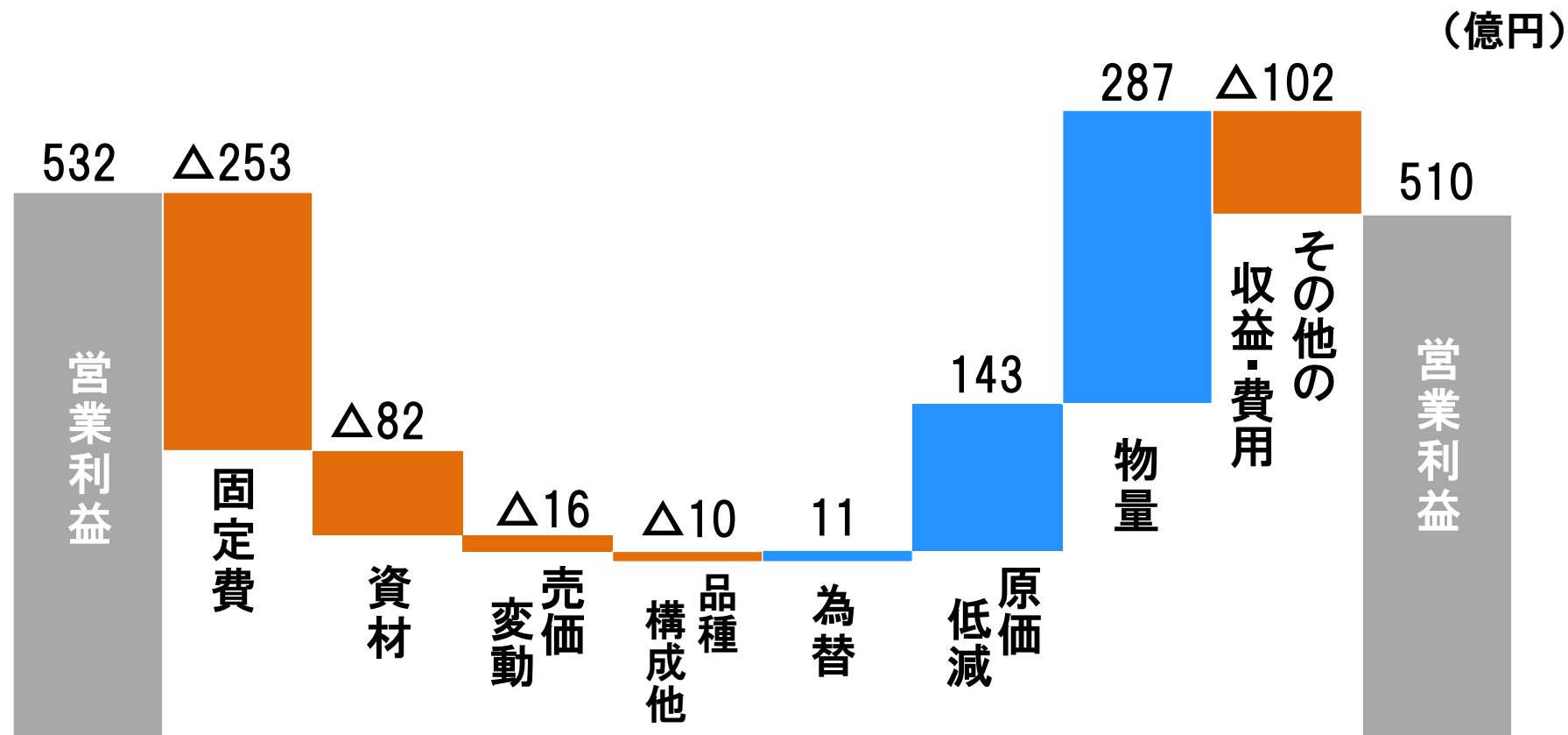
3,700億円（前年度比 132%）

新規連結子会社による売上増のほか、産業用電池では下期が最需要期であることから、上期からの伸長が見込まれる

	売上収益	前年度比
機能材料	3,000 億円	110 %
電子材料	981	107
封止材		108
ダイボンディング材料		93
CMPスラリー		125
無機材料	311	127
リチウムイオン電池用負極材		140
樹脂材料	645	110
ディスプレイ用回路接続フィルム		112
配線板材料	842	119
銅張積層板		120
感光性フィルム		118

	売上収益	前年度比
先端部品・システム	3,700 億円	132 %
自動車部品	1,390	112
樹脂成形品		116
摩擦材		117
粉末冶金製品		107
蓄電デバイス・システム	1,760	152
車両用電池		184
産業用電池		137
電子部品	415	115

営業利益の偏差説明（1）



16年度
実績

△22億円

17年度
見通し

営業利益の偏差説明(2)

(億円)

セグメント	16年度	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種 構成他	その他の 収益・ 費用	17年度 見通し
機能材料	443	100	△54	7	△16	75	△44	9	△30	490
先端部品 ・ システム	89	187	38	4	△66	68	△209	△19	△72	20
計	532	287	△16	11	△82	143	△253	△10	△102	510

(参考)主要材料購入単価推移

(16年度を100とした指数表示)

項目	16年度	17/1Q	17/2Q
原油(ドバイ)	100	106	108
鉛	100	105	111
エポキシ	100	100	100
PETフィルム	100	100	100
MMA	100	107	107
ガラスクロス	100	112	112
銅箔	100	110	108

(参考)17/2Qトピックス

■ Thai Storage Batteryの株式取得 (2017年9月)

会社概要

- ・事業内容:自動車用および産業用鉛蓄電池の製造、販売
- ・業績 :売上高 173億円
当期純利益 5億円 (2016年12月期)
- ・強み :幅広い製品ラインアップ、販売ネットワークを保有。
タイ及び東南アジアにおいて知名度の高い「3K」
ブランドを有している

目的

規模拡大によるグローバル市場での地位確立

今後の展開

- ・TSB :鉛蓄電池の製品力を強化し、東南アジアでのシェア拡大
- ・日立化成:TSBのブランド力、製造拠点を活用し、東南アジアにおける自動車用および産業用鉛蓄電池事業を強化

(参考)17/2Qトピックス

■協和メデックスの株式取得 (2018年1月予定)

会社概要

- ・事業内容: 体外診断用医薬品(診断薬)の開発・製造・販売
自動分析装置の開発・製造・販売
マイコトキシン分析などの受託分析サービス業務
- ・業績 : 売上高 120億円
営業利益 7億円 (2016年12月期)
- ・強み : 幅広い製品ラインアップを保有
特に高脂血症、糖尿病の分野では国内で高シェア

目的

ライフサイエンス関連事業成長に向けての診断薬事業の強化

今後の展開

- ・協和メデックス: 日立化成グループの海外販売網活用による
グローバル展開
- ・日立化成: 国内販売網を活用した販売促進
- ・両社が保有する診断薬技術の融合、リソースの有効活用

Hitachi Chemical

Working On Wonders

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料を無断で転載、二次利用することをお断りいたします。

